

千歳セントラルロータリークラブ

ROTARY INTERNATIONAL District 2510

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB



発行 千歳セントラルロータリークラブ

会長 坂井 治 / 副会長 彦坂忠人 / 幹事 佐々木俊哉 / 会報編集責任者 武田伸也

〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 ホテル日航千歳内 TEL・FAX.0123-26-5788 オフィシャルホームページ <http://www.ccrcc.jp> E-mail.office@ccrc.jp

会長あいさつ

会長 坂井 治

皆さん、こんにちは。

今日は次年度会長の羽生さんから会長方針のお話があります。

昨年の今頃は私が緊張しながら会長方針の発表をしたのを思い出します。

組織のリーダーにはトップダウン型リーダー、ボトムアップ型リーダー等いろいろなタイプがあります。

私は先頭に立って「俺はこうやるのだから皆ついてこい」と言うタイプのトップダウン型にはなれませんが、ボトムアップ型リーダーを目指してやってきました。

中には、それが手ぬるいとご不満を持たれるメンバーもいらっしゃるようですが、それはそれぞれのやり方ですからご容赦いただきたいと思います。

私たちは会員誰もが同じ会費を払って活動しています。

会社組織なら命令ひとつで部下を動かしますが、ロータリーはそのような組織ではないですね。

「立場が人を作る」という言葉があります。

特に私たちのようなボランティア組織では毎年、適材適所の人員配置をしていくと後任が育ってこないということが起こります。

例えば出席率が悪い会員には逆に出席委員会をお願いし立场上出席せざるを得ないので出席するようになるということもあり得ます。

本年度の組織を組む時に、できるだけ後進の育成と言うことを念頭に組織をさせていただきました。

中には仕事の都合でどうしても出席がかなわない方もいらっしゃるようですが、例会を欠席してもご自身の役割を果たして下さっている方もたくさんいます。

次年度の組織が決まりました。

あとは会長方針にのっとって、その組織がいかに動くかと言うことにかかっていると思います。

今日の次年度会長方針をよくご理解いただき来年度もい年度になりますように念じます。

例会出席状況 (2011年4月26日)

会員数	34 名
会員出席者数	23 名
欠席者数 (内: 無断欠席)	11 (2) 名
出席率 (前回例会)	67.64 (61.76) %
ゲスト・ビジター出席者数	0 名
出席者数総計	23 名

幹事報告

幹事 佐々木 俊哉

- 第 2510 地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会より地区の義援金 (第 1 回目) の報告
2011 年 4 月 11 日現在、各クラブから 1,500 万円の義援金が集まっています。
- 前回もご案内しましたローターアクト第 38 回地区大会仮登録のご案内
現在 9 名の方が登録されております。皆さんに出欠を伺いたいと思いますのでご協力をお願いします。
- 長沼国際交流フェスティバルのご案内
前回もご案内しましたが、詳細案内を回覧しますので多くの方に参加していただきたいと思います。

各委員会報告・連絡

次年度ふれあい農園実行委員会委員長(直前会長) 高塚 信和

いよいよ、今年の農園作業が 5 月 10 日(火)に始まります。11:45~12:15 にエアポートホテルアネックスで昼食をしていただきます。今日は 23 名の方が出席されていますが、弁当の手配をする必要があるため、欠席の方のみ後ほど出席委員会の中村通夫会員に連絡してください。12:30 までに到着して約 1 時間 30 分ほどかけて作業を行います。清水会員にはトラクターで土を耕してもらいますが、種イモをカットして準備をして植えていくこととなります。当日の服装はラフな格好で長靴も必要かと思えます。準備をして参加してください。

副幹事(次年度幹事) 須藤 文

先週も第 1 例会に関するアンケート調査を行いました。まだ提出されていない方はお手元を書いて置いておいてください。

ニコニコ BOX**ニコニコ箱委員会 委員長 羽芝 涼一**

羽芝涼一会員：4 月 14 日に行われたあるコンペで優勝しました。

須藤 文会員：NHK で日曜日の朝 9 時から放送されている「日曜美術館」で、娘が通っている絵画教室の野田弘志画伯が特集されます。興味のある方はご覧ください。

佐々木俊哉会員：しばらく欠席していました。

本日のプログラム**「次年度方針発表」 会長エレクト 羽生 有三**

みなさん、こんにちは。

次年度の方針の発表は 2,3 分で終わってしまいますので、場がもちません。私も千歳にきて 23 年になりますが、羽生とはどういう人物なのかということをご存じない方がたくさんいらっしゃると思います。ですから、今日はみなさんに知ってもらうためにあえて恥ずかしいのですが、私の履歴を簡単に話したいと思えます。

私は、昭和 22 年 7 月 25 日神奈川県逗子で生まれました。父は市の助役をやっていました。祖父は鹿児島県の県議を務めていました。次期知事になると決まっていたらしいのですが、四十数歳の短命で亡くなりました。

父は政治家である父をすごく嫌ってしまっていて、なぜ自分をおいて早死にしたのかですとか、政治的な思想も違っていました。祖父の墓が鹿児島の種子島に立派なのがあるのですが、親に反抗して祖父の墓には入らずに横浜の寺の墓地で眠っています。

父も選挙に出て、失敗しています。市議員にちやほやされて若い時からキャリア官僚でした。

37,8 歳で神奈川県経済部長という要職をやっていて、そのうち逗子という町が海水浴などで経済的に豊かになって独立運動にはしり、その頃から父は間違った道を歩んだのかなあと思っています。

私も小学校 6 年と中学校 3 年の時に転校をしました。その都度、卒業アルバムをみても何も思い出がないという悲しい経験をしました。高校の時は、父の羽振りが良く、私立の大学に進学してよいと言われました。その時卓球がすごく好きで都立高校で私立に負けないぐらいの都立北野高校に入学しました。前身が女子高校だったため進学率が 2,3 割でした。私はてっきり卓球を頑張れば父が私立の大学に進学させてもらえると思いき、高校 2 年まで勉強をまったくしな

いで卓球に打ち込む生活をしました。

それが、急に高校 3 年の初め、父が事業に失敗して私立は駄目だといわれました。当然国立大学でないと進学させられないと言われました。

その時男子では 2 番目に悪い成績でした。3 年になって、進路指導の先生にどうするのかと聞かれ困ったなあと思ったのですが、自分は数年間勉強をして東大にいきたいと言いました。それが人生で一番恥ずかしかったことです。

その当時、日本史の大学の先生になりたいと思っていました。ですが高校 3 年の時に東京オリンピックが開催されました。代々木体育館などを作ったのが建築家の丹下健三先生で、それから建築家になりたいと思いました。

東大の受験に 2 連敗してたまたま親友が慶応大学の商学部を受けるといって、予備練習で一緒にいきました。親友が運悪く落ちまして、私が受かりました。その時から親友とは関係が難しくなり、今は音信不通となっています。

当然、父も一切お金を払ってくれません。義理の兄が入金と 1 学期分の学費を出してくれました。

自分で勉強していったという思いがしないまま慶応大学に行くことになりました。

学校の勉強で役に立ったのは簿記です。貸借対照表ぐらいまでは自分で作れるようになりました。建築の勉強もデザイン関係を 1 年間やりまして、情報誌「ちゃん」とのなかでの色づけなどで役に立っていると思います。

私はバツ 1 なのですが、母方の遠縁にあたる女性と結婚しました。娘と息子がおります。娘はかわったところがありまして、一度こちらでおもしろい話をさせようかと思っています。千歳高校出身です。息子は会社の営業をやらせています。今の妻とは 18 年前に結婚しました。今年大学に進学した子供が一人おります。最初は東大志望だったのですが先生が京都大学なら 100%受かるといわれ、急きょ変更しました。本人も入試はできたから、というので喜んで京都観光をして帰ってきました。私も喜んで親ばかりでマンションを予約したのですが、受験に失敗しました。イージーミスで計算間違いでした。それから、どうするのかとって既に受かっていた慶応大学に来月入学します。

仕事のほうは、最初は前妻の親が経営しているボーリング場、レストラン等娯楽・飲食業で営業部長をやっていました。その時も会社は伸びて優良な企業に成長しました。しかし、同族会社で軋轢があり仕事のために離婚せざるを得ない状況になりました。離婚後、東京の町田で塾を経営しようと思いき、教室を借りた段階でその時パチンコ店の営業責任者もやっていて、お世話になった方から千歳の駅前の遊休地でパチンコ店を出したいという話がありました。義理人情で 1 年だけでいいからという話が縁でそれ以来 23 年間千歳にいたこととなります。

これまで、経営が好きで雀荘からはじめて 32 ほどいろいろや

っていますが、一度も失敗したことはありません。それだけは自負できます。28~30 歳の時には 2 年間一度も休まずに仕事をしたことがあります。それが一番の自慢であり自分の支えになっています。

千歳にきましてドームというパチンコ店をやりまして、はじめは常務としてきてその後、平成 7 年まで社長をやりました。大変あたりまして、6 店舗を作ることができました。運悪く、オーナーと考え方が違い株も持っていませんでしたので、解任されました。自分としてはすごく悩みました。その後、数年間アドバイザー等をつとめ、自分が考えていた生活情報誌をやってみようかと思いました。千歳・恵庭は地域社会が崩れていないので情報誌をだすような地盤があるかと思ったからです。しかし、最初の 2 年間はなぜ広告がとれないのかという状況で、2 年目にやめようかと思いました。でも 3 年間は 1 億までは赤字になってもいいのではないかと、粘ってやっています。

すると、去年の春ぐらいから営業成績がよくなり、最近では赤字が黒字転換しました。

「ちゃんと」を始めるときは利益を追求する会社ではないので、もし黒字が出た場合は営業利益の 5% を市ないし教育で地元還元すると決めています。すごくやりがいがあるのですが、今回会長エレクトに選任されて以降、ほとんど会社に出ていません。毎週火曜日にミーティングをやっているのですが、その時だけで指示をしています。

1 年半前に会長エレクトに選任されて簡単に引き受けてしまったのですが、まだまだ時間があると思いきや全然勉強もしていません。急に最近ロータリーのことを勉強し始めたのですが、63 歳を過ぎて覚えが悪くなり苦労しています。

先ほど坂井会長も言われたようにロータリークラブはボランティア団体ですから、みんなが平等でみんなが権限をもつクラブです。リーダーシップも必要かもしれませんが、先月の会長エレクトセミナーに出席して丸山パストガバナーが私と同じ考えを持っていると思いました。彼はロータリークラブの会長に強いリーダーシップはいらない、といっています。

法人を立ち上げる時はワンマンで人の意見をまったく聞きませんが、クラブはみんなの支えでやっていくのが一番いいと思っています。高塚直前会長、坂井会長はロータリアンとして大変ロータリーのことを勉強されている方でした。私のようにロータリーのことを理解していない人間が、かじ取りをするわけですが船長のようにはなれないと思っています。親睦と融和で全員参加型のクラブ運営をしていきたいと思っています。

それから、東日本大震災と福島原発で二重苦というか、2 倍くるしいというより 2 の二乗で 4 倍苦しくなっていると思います。日本が試されていると思います。天罰なのかなという気持ちです。

私はこの震災の義援金をすぐ送ったほうがいいと思いました

が、理事会ではもう少し待ったほうがいいということになりました。それが本当に今となって見れば、義援金がまだ現地に届いていないという現状もあり良かったと思っています。やはりその時のメンバーは素晴らしいと思いました。もし私が強く主張していたら、過ちをおかしていたのではないかと思います。現地の人々を思い出すたびに、みなさんには赤いポスト型の義援金箱に寄付していただきたいと思っています。

アメリカと日本のロータークラブの違いについて、確かではないのですが娘から聞いてきました。

アメリカではすべてお金です。寄付をすればボランティアということになります。学生の際は汗水を流してボランティアを行い、社会人になったらお金で寄付する。日本の観念とは全然違います。日本は儒学で儒教思想があり寄付という言葉が好きではありません。お寺には寄進、お布施するなどと言います。

次年度の RI 会長はインドのカルヤン・バネルジー氏という方です。

今まで、アメリカに次いで日本のロータリアンが多かったそうですが、インドに抜かれたそうです。ロータリアンが増えているのはインドと中国とブラジルです。経済が好調な国がロータリアンは増えています。

次年度のテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。

いろいろ調べてみましたが、こころの中を見つめようというのは自分を意識して考えようということだと思います。

博愛とはすべての人を平等に愛することです。次年度の会長はすごくアジア人的な考えをされていると思いました。これからの言動を勉強させてもらいたいと思っています。

私は出戻りで今回、3 回目の入会になります。

1 回目と 2 回目はお付き合いで入ったようなものでした。しかし、3 回目は高塚会員にお願いして頭をさげて入会しました。1 年半前に会長を引き受けた時はこういう事態を想定していませんでした。私はそれから努力したことは、会社にでるとロータリーの仕事がなかなかできないのではないかと思います、ほとんど会社にておりません。その副産物として社員が自ら仕事をしていってくれるようになりました。ロータリーの会長を引き受けて大きな副産物を得たと思っています。

いよいよ次年度の会長方針なのですが、継続事業はアイドリング・ストップ運動、ふれあい農園、支笏湖復興の森で次年度も行いたいと思っています。

ニコニコ BOX と義援金 (ポスト) について例会時に集まった金額の発表をした方が意欲を増すのではないかと思います。みなさんに賛成いただければ発表したいと思っています。

来年の 5 月に長泉友好クラブとの友好締結 15 周年を迎えます。ゴルフ・観光だけでなく、何かいいものがあれば考えて 15 周年記念事業を行いたいと思っています。

さらに、加藤会員、高塚会員が発表したさくらの事業につ

いてです。

6 クラブ合同で市民協働を行うということは決まっているようなのですが、千歳を愛する人、とくに子供たちの郷土愛を育てるような事業にしたいと思います。いろいろな団体が足並みをそろえてうまくスタートできなければ、ゴールはなかなか難しいと思っています。戦略をたてて彦坂年度にも引き継いでいきたいと思っています。千歳セントラルロータリークラブが先頭にたって提案していけたらなあと思います。私も千歳に 23 年いますが、最大の事業だと思っています。

「四つのテスト」は大変素晴らしい言葉と思っています。ですから、この言葉を道標として会員がみな平等で楽しい親睦と融和をはかり、全員参加型のクラブになってもらいたいと思います。

これまで、テーマに会員増強、会員増強としてきました。それには我々のクラブが他に PR していかなければなりません。これからはクラブ以外の人を巻き込んで事業をやり、広い市民に参加してもらって厚みのある事業展開ができればと思います。

出席率の高いクラブにするために最低でも 70% をきらないようにやっていきたいと思っています。出席委員会を出席向上委員会に名前をかえてもいいぐらい活動してもらいたいと思います。退会者を出さないようにしながらまわりに声をかけていただくことも大事だと思っています。欠席者にはロータリーの友・会報を持参してなるべく参加してもらえよう出席を促したいと思っています。率先して私も行いますが、皆さんも協力して退会者を防ぐためにやっていただきたいと思っています。

力不足の私ですが、自分なりに頑張りたいと思っています。どうかみなさんご協力の程よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

SCHEDULE

5月3日	●休会 (みどりの日)
5月10日	移動例会「ふれあい農園」 [担当/ふれあい農園実行委員会]
5月17日	★夜間親睦例会「未定」 [担当/親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]
5月24日	移動例会「アイドリング・ストップ啓発活動」 [担当/エコプロジェクト実行委員会(須藤委員長)]
5月31日	●休会 (月末)
6月7日	★夜間通常例会「クラブ協議会」 [担当/佐々木幹事]
6月14日	通常例会「2010-2011 年度 活動報告①」 [担当/羽生会長エレクト、須藤副幹事、高塚直前会長、菊池会計]
6月21日	通常例会「2010-2011 年度 活動報告②」 [担当/坂井会長、彦坂副会長、佐々木幹事、入口 20 周年実行委員長]
6月28日	★夜間親睦例会「2010-2011 年度 最終例会」 [担当/佐々木幹事、親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]